

## 令和2年度 第3回玉垣小学校 学校運営協議会 実施報告書

- 1 日 時 令和2年 8月27日(木) 16:00 ~ 17:00
- 2 場 所 校長室
- 3 あいさつ(学校長)
  - ・例年だと夏季休業中だが、子どもたちは元気に登校できている。
  - ・地域の皆様のご協力もあり、休業中、大きな怪我・事故もなく、無事に過ごせたことに感謝している。
  - ・時々刻々と変化するウイズコロナにおける学校生活のあり方を模索中である。
- 4 協議内容
  - (1) 修学旅行・社会見学について
    - 【資料により説明】
    - ・資料にあるように市教委から示されたガイドラインに基づき修学旅行・社会見学ともに行先は、県内ということになった。
    - ・訪問先施設・場所・移動のバスなど感染予防対策の徹底をしていきたい。
    - ・受け入れ先の事情もあり、現在訪問先等を検討中の学年もある。
    - ・5年生の宿泊学習もガイドラインにより日帰りでの実施となった。
    - 【意見等】
    - ・県や国の補助事業の活用も検討しているとのことだが、県内の地域・施設の応援にもなると考える。
  - (2) 夏休み中の子どもたちの様子について
    - ・学校に行くことを楽しみにしていた、という声を聞いた。
    - ・元気に登校する姿を見て、ボランティアとしても安心している。
    - ・保護者が子どもが誰と遊んでいるのか、どのように遊ぶのかを例年以上に把握しておく必要のある夏休みだったのではないかと感じている。
- 5 意見交換
  - ・登下校の見守りの強化を図りたいと思っている。しかし、あんしんみまもり隊の総会が中止となってしまい心配していたが、自主的に見守り活動をしていただいている方もみえる。
  - ・行事等が中止になる中で、学校として困っていることがあれば運営協議会に申し入れてほしい。
- 6 その他
  - ・二学期の主な行事予定(裏面)
  - ・保護者の観覧については、前回ご意見をいただいたのだが、周辺の学校の様子等も鑑み、子ども一人につき1名の観覧ということにしたい。低・中・高学年別の3部制での実施としたので、保護者の入れ替えが課題となっている。PTAとも相談しながら計画をしている。

7 鈴鹿市教育委員会から

- 例年にない様々な対応が必要となっているので、保護者・地域の協力を仰ぐことも必要。
- コロナウイルス感染症について、「正しく知って、正しく怖がれる」ように文科省等の資料を活用し、子どもへの指導とともに保護者への啓発が必要。